

(モデル校名 愛知県 東海市立横須賀中学校)

○学校の概要 (平成15年4月現在)

東海市立横須賀中学校						
	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	7	7	7	2	23	41
生徒数	248	263	274	6	791	

○本年度当初、抱えていた「総合的な学習の時間」の課題について

- ・昨年度まで「総合的な学習の時間」の活用の仕方が、学校行事の準備に使われていることもあり、これを通して育てたい力や生徒像が曖昧なものであった。
- ・総合的な学習の時間に、自校カリ、東海市モデルカリをどのように編成するか。

○研究主題をどのように受け止め、どのような目標設定をしたか。

- ・自分の思いを自分の言葉で表現 (自己表現) し、自分の思いを他者に伝える (自己発信) ことができるようにするため、全教育活動を通して基本的な考え方やカリキュラムづくりし、まずは授業実践し、研究主題に迫るための手だてを模索した。

○平成15年度の実践内容と成果・課題

- ・総合的な学習の時間に、身近な人とのふれあいを意図的に設定しながら活動を進めてきた結果、生徒にとって他者とのかかわりの中で成長できた場面も多く、効果的であった。
- ・校区の小学校での英語活動の授業実践を中学校の全ての教師が参観でき、中学校での実践に向けての基盤づくりとすることができた。
- ・各教科では、表現力の基礎を培うための授業実践をしてきたが、驚くや発見のある魅力的な授業もあった。このような機会は教師としての資質を高めるために役立った。
- ・総合的な学習の時間に、自校カリの作成と実践、東海市カリの実践を進めることができたが、学年間での系統性に課題が残る。
- ・総合的な学習の時間を、自校カリ・東海市モデルカリ・英語活動・日本文化活動で構成するが、年度途中で英語活動と日本文化活動を組み入れたので、時間的に無理を生じたので、本校としての総合的な学習の時間の再編をする必要がある。

○本年度の課題を踏まえて、平成16年度どのような実践を行う予定か。

- ・総合的な学習の時間をはじめ、各教科、道徳、特別活動など、全ての教育課程を通して、研究主題である人とかかわり自分の思いを伝え合うことができる生徒の育成に迫るようにする。
- ・英語活動では、小学校で体験してきた子供たちの期待と楽しみを裏切らないように実践し、日本文化活動と合わせて、小中学校の交流や連携を推進する。
- ・全ての教師が、全教育課程の中で、授業改革を意識した授業研究に取り組む。

〈総合的な学習の時間の全体計画〉

本校の教育目標

- ・質実…・実質を大切にし、たくましく生きる。
- (校訓) ・勤勉…・自らの体を鍛え、知恵を磨く。
- ・奉仕…・共に生きる社会を目指し、自分と他のために尽くす。

関係諸法規	
・日本国憲法	
・教育基本法	
・学校教育法	
・学習指導要領	
・東海市市民憲章	
・東海市生涯学習目標	

- ・生徒の実態
- ・教師の願い
- ・地域社会の実態

特別活動	
・自主的・自発的な活動	
・話し合いの仕方	
【学級活動】	
・自主的・実践的な活動による学級や学校生活の充実・向上	
・人間としての生き方の学習	
【生徒会活動】	
・自分たちで学校を創り上げていく態度	
【学校行事】	
・豊かな感動ある学校生活の創造	

目指す子ども像

- ・意欲的に課題を見つける生徒（発見力）
- ・学んだことを関連づけ、課題を様々な方法・考え方で追究し、自分の力で問題を解決しようとする生徒（解決力）
- ・積極的に人とかわかり、自分の思いや考えを自分らしく表現しようとする生徒（かかわる力）
- ・学習した結果や身に付けた力を生活や学習に生かす生徒（活用力）

各教科	
国語	・相手意識をもち、自分の思いや考えを的確に表現する力 ・話し手や聞き手の意図を正確に理解する力 ・情報の収集・選択・活用
社会	・広い視野での社会的事象への関心 ・多面的価格的な資料活用能力 ・表現能力
数学	・日常生活での様々な事象の数理的な解明 ・測定能力 ・論理性 ・グラフ等の表現力
理科	・観察や実験の力 ・自然事象のしくみの科学的なとらえ ・道具を扱う技能 ・課題設定力
音楽	・海外諸国や地域の音楽文化等についての理解 ・歌唱・演奏活動による表現力 ・鑑賞活動
美術	・制作における表現技法の拡大 ・目的・意図のはっきりした制作活動 ・鑑賞活動
保健体育	・運動を楽しみ、課題解決のための主体的な身体表現 ・安全に対する配慮
技術・家庭	・日常生活における基礎的な技能 ・身に付けた知識・技能の日常生活での活用 ・地域の特色を生かす指導
英語	・実践的なコミュニケーション能力 ・海外の事象に関心をもち自ら進んで学ぼうとする態度

道徳	
・自らの生き方を考え、よりよく生きようとする自己啓発	
・自ら判断し、自らの行動に責任をもつ人間	
・体験活動による社会的な奉仕	

「総合的な学習の時間」の目標

- ① 学び方やものの考え方を身に付け、学んだことを生かし自分で判断して行動できる。
- ② 日本や諸外国の文化を理解し、尊重でき、国際人としての資質を身に付ける。
- ③ お互いの違いを尊重し、自分の思いや考えを意欲的に表現できる。

生徒指導	
・自ら判断し、実行する中での自主性・主体性	
・よりよい人間関係をつくりあげる能力	
・地域の人々との交流による社会ルールやマナーの学習	

「総合的な学習の時間」の基本的な考え方

- ・「総合的な学習の時間」を他教科・領域とも関連させながら進める。その中で教師は、個々の生徒の高まりを支援していく。
- ・年度当初にオリエンテーションの時間をとり、「総合的な学習の時間」に対する基本的な取り組み方を確認する。
- ・モデル事業のねらいを踏まえながら、東海市共通カリ・自校カリの実践を行う。特に16年度は「英語活動」「日本文化理解」に重点をおいた研究を推進する。

各学年のテーマと時間数

各学年のテーマと時間数	
(学校全体のテーマ)	「生きている わたしたち」
(第1学年)	「地域を見つめて」 年間時間数：100時間
(第2学年)	「新聞を通して、自分の生き方を探ろう」 年間時間数：85時間
(第3学年)	「未来を見つめて」 年間時間数：130時間

学校環境

- ・各学年室、総合学習センター、校内（学年）掲示板等の効果的な活用

家庭および地域社会との連携

- ・外部講師
- ・PTAとの協力
- ・市役所
- ・しあわせ村

総合的な学習活動年間計画

東海市立横須賀中学校

年 期	活 動 名	活 動 目 標	時 間
1 学 年	I 期 「学び方」を知る	総合的な学習の時間の「学び方」について理解し、主体的に学習しようとする気持ちをもつことができる。	9 5
	校歌をひもといて	校歌の歌詞を読み取る作業を通して、様々な高度から課題を設定し、校歌にこめられている願いや地域の特色を主体的に探究しようとする。	
	さかな・さかな・さかな	魚や海に関する課題を設定し、地引き網や魚の調理の体験を生かして、自然や海に関わる人々の生き方や工夫について、地域の特色を盛り込みながら主体的に探究しようとする。	
	II 期 ため池の役割は終わったのだろうか	東海市のため池の歴史・役割・人との関わりなどを追究し、ため池の今後のあり方について自分の意見をもつことができる。	
	東海市大発見 (健康料理をあなたに) (平洲先生を探そう)	郷土に生きる人々とのふれあいを通して、産業や歴史・文化などについて知り、21世紀に向けた新しい街づくりを主体的に考えていこうとする。	
	I II 期 職業について考えよう (職業調べしよう)(地域の社会人と語る会)	身近な人や地域の社会人から、仕事や職業選択におけるアドバイス等を聞き、生き方や職業についての考え方を深めようとする。	
	III 期 命の重さ	現在及び将来において直面する生の諸問題に対し、適切な意思決定や行動選択ができるようにする。	
	いま私にできること	校内や身近な地域に対して、実現可能なボランティアについて考え、人のために役立つことを主体的に実践しようとする。	
	わたし、発見！(自由レポート)	1年間の総合的な学習を振り返り、レポートにまとめることで、次年度への活動に見通しをもつことができる。	
	I II 期 英語活動「海外旅行へ行こう！」	「海外旅行へ行こう！」というテーマで、生徒が世界各地を旅行するという設定。その訪問先で、実際の場面で必要な英語表現(機内、空港、電話、観光案内所、レストラン、郵便局、乗り物、買い物など)を学ぶ。	
I II 期 日本文化理解 「日本の伝統的な文化にふれよう」 オリエンテーション	校区小学校で取り組んできた内容や生徒の希望を考慮しながら講座を設置する。選択した講座をもとにテーマを設定		
I 期 大田川は市民の憩いの場になるか	NIE活動の学習の仕方を知る。 兩岸をコンクリートで固められた身近な川の実態を見つめ、望ましい都市河川の姿にする方策を考える。		
一市民としての提言	一滴の水の大切さを実感し、東海市の一市民として何ができるかを考え、具体的な対策を自治体、コミュニティ等に提言する。		
水源地を守れ！(林間学習)	林間学習の計画を話し合い、郡上八幡町の自然を守る活動を実践することで、自然と人間の関係について考えることができる。		
職業の情報集め(職場体験学習)	自分の興味ある職業について、調べ学習したり体験学習したりすることで情報を集め、進路計画に役立てることができる。		
II III 期 NIE作品コンクールへの応募	個人でテーマを設定し、そのテーマに沿って新聞記事を集めたり、調べ学習をしたりして考えを深める。		
III 期 細井平洲先生	平洲先生の人となりを追及し、学問の意義を知り、自己の人間形成に役立てようとする。		
命のゆくえ(現代社会と命)	脳死による臓器提供について話し合うことにより、命のかけがえのなさについての自覚を深め、自他の命を尊重しようとする態度を養い、命と生きることに肯定的な価値観を形成しようとする。		
I II 期 英語活動 「我が家に外国人がやってきた！」	「我が家に外国人がやってきた！」というテーマで、生徒の家に外国人の中学生がホームステイをするという設定。「日本の文化や習慣」について、英語を使って外国人に伝える。		
I II 期 日本文化理解 「地域の文化について学ぼう」	「地域の文化」をテーマとした個人研究		
3 学 年	I 期 「学び方」を知る	総合的な学習の時間の「学び方」について理解し、主体的に学習しようとする気持ちをもつことができる。	1 2 0
	地域の偉人を知ろう (平洲先生と米沢)	平洲先生を通して、我が町東海市と米沢市との結びつきを理解し、修学旅行先の米沢で、「先達の心」を実践する。	
	首都大発見 (東京班別研修)	日本の首都東京で、自分の立てたプランと実際の行動を比較し、これからの調べ学習の仕方に生かしていく。	
	I II 期 1年後のわたし	自分の進路先について取材し、将来の夢の実現に向けて具体的なイメージをつかむ。	
	II 期 自ら考える防災訓練	東海豪雨や近い将来起こると予想される東海地震などの自然災害を想定した防災訓練を計画・実践し、災害から命を守るための技能を身につける。	
	II III 期 卒業研究 (総合的な学習で学んだことを生かそう)	自ら設定した課題について調べたり、体験したりして、学ぶ喜びを知る。	
	III 期 英語で語る	総合的な学習のまとめとして、卒業研究の内容を整理し、英語で自分の思いを語る。	
	人生夢プラン	人生設計を作成することにより、自分の生き方を見つめることができる。	
I II 期 日本文化理解 「日本の文化を学び、広めよう」	「日本の文化」をテーマとした個人研究		

全 学 年	全 期	フリースタディー	教科学習の学び方を知り、疑問に思っていることを解決することで、学習に対する意欲化を図る。	1・2年 5
				3年 10